

研究・調査報告書

報告書番号	担当
6 9	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳)	
Serum cholesterol, haemorrhagic stroke, ischaemic stroke, and myocardial infarction: Korean national health system prospective cohort study. 血清コレステロールと脳出血、脳梗塞、心筋梗塞: Korean National health system prospective cohort study	
執筆者	
Shah Ebrahim, Joochon Sung, Yun-Mi Song, Robert L Ferrer, Debbie A Lawlor and George Davey Smith	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
BMJ 2006; 333:22	
キーワード	
韓国、多量飲酒、血清コレステロール、脳出血、脳梗塞、心筋梗塞	
要 旨	
(目的) 多量飲酒が低コレステロールと関連して脳出血の危険性を増加させているか検討する。	
(方法) 韓国の 30 歳から 64 歳の 787442 人 (男性 661700 人、女性 125742 人) の公務員を対象に 15 年間、前向きコホート研究を行った。循環器疾患の危険因子は 1986 年又は 1990 年の隔年ごとの健康診断時に評価。発症と死亡データは 1990 年-2001 年の入院歴や死亡調査より集めた。	
(結果) 脳梗塞 6328 例 (男性 6021 例、女性 307 例)、脳出血 3947 例 (男性 3748 例、女性 199 例)、不詳脳卒中 3170 例 (男性 2902 例、女性 268 例)、心筋梗塞 4417 例 (男性 4305 例、女性 1102 例) 発症が観察された。脳梗塞と心筋梗塞は血清コレステロールと強い正の関連を認めた(脳梗塞: コレステロール 1mmol/L 上昇あたりのハザード比 (HR) =1.2, 95%CI: 1.16-1.24; 心筋梗塞: HR=1.48, 95%CI: 1.43-1.53)。脳出血は血清コレステロールと負の関連を示した (HR=0.91, 95%CI: 0.87-0.95) が、この関連は高血圧者に限定的であった。アルコール飲酒量を示す γ GTP にて層別化すると、 γ GTP 低値群では高血圧患者において脳出血は血清コレステロールと負の相関を認めなかったが、 γ GTP 高値群 (80IU 以上) では高血圧と独立して、関連を認めた。	
(結論) 低コレステロール者で脳出血が多いという関連に多量飲酒が影響を与えている可能性が示唆された。	